

秘

救恤審判係參考書

(各參考中記載ノ別紙ハ凡テ省略セリ)

昭和八年 救恤審査會

目次

- 第一號 日露戰役個人損害ニ關スル救恤金査定經過要領
- 第二號 大正十一年法律第三九號關係救恤審査會決議便覽
- 第三號 大正十一年法律第三九號尼港事件救恤ニ關スル概要
- 第四號 大正十二年法律第三十九號ニ依ル救恤概要
- 第五號 日獨歐州戰爭ニ對スル救恤(大正十四年法律第三九號)
- 第六號 昭和四年法律第三十六號ニ依ル救恤審査會報告拔錄
- 第七號 昭和四年法律第三十六號ニ依ル救恤審査査定及救恤金配分ノ經過
- 第八號 在滿洲朝鮮人被害者ニ對スル所轄館長ノ救恤意見並救恤金査定表
- 第九號 救恤査定標準前例一覽

参考  
第一號

秘寫

日露戰役個人損害ニ關スル  
救恤金査定經過要領

(明治四十二年法律第三八號  
及勅令第一〇七號關係)

第一號

救恤金査定經過要領

救恤金査定委員會ハ各年(明治四十二年)五月第一回ノ委員會ニ於  
テ査定ノ大體方針ヲ議スルト同時ニ主査委員若干名ヲ定メ申請書ノ  
審査ニ着手セシムルコトトセリ主査委員カ申請書ノ審査ニ着手シタ  
ル當初ニ於テハ試ニ先ツ申請書ニ掲クル各種物品ニ付市價ヲ按シテ  
各別ニ標準單價ヲ定メ之ニ依リ損害價額ヲ算定シ申請者中當テ損害  
届又ハ請願書ヲ提出シタルモノニ付テハ右前提出書類ヲ對照シテ其  
引揚當時ニ於ケル状態如何ヲ稽ヘ大體經由官廳ノ副申ヲ標準トシテ  
審査額ヲ擬定シタレトモ損害品ノ數量及品目ニ關スル申請書ノ記述  
ハ殆ト信ヲ措キ難キモノ多ク又添附セル證據書類ニ依ルモ實際ノ損  
害ヲ明確ナラシムルニ足ルモノ甚尠カリシニ因リ數種ノ職業ニ付營  
業設備、機械器具、家具什器、衣類等ノ別ニ從ヒ各標準價額ヲ定メ  
テ損害額ヲ算出シ尙前同様副申及前提出書類等ヲ參考シテ審査ヲ試  
ミタリシカ其後諸方面ソ申請書カ漸次進達濟トナルト同時ニ在外領

領事愈中査定方針ニ關シ意見ヲ具申スルモノアリ尙委員會ニ於テ引揚人名簿、浦潮月報、海外實業者調査書等數多ノ參考資料ヲ入手スルニ至レリ即チ從前比較的重キヲ措キタル經由官廳ノ副申ハ寬嚴區々タルノミナラス往々十分ニ信據スヘカラサルモノアルヲ發見セルカ故ニ必スシモ副申ノ良否ヲ問ハサルコトトシ又申請書中營業鑑札ヲ添附スルモノ其他營業ノ等級明カナルモノニ付テハ主トシテ鑑札面ノ營業等級及稅金額ヲ標準トスルコトトセリ故ニ審査ノ順序トシテハ先ツ申請書ノ内容ト前提出書類トヲ對照シ職業又ハ稼業、在留地、在留期間、引揚年月日及引揚ノ經路等ニ付異同ヲ檢シ營業等級及鑑札稅金額、家族使用人ノ員數等ヲ標準トシテ營業規模ノ大小並ニ生活ノ程度ヲ判定シ尙諸般ノ參考資料ヲ調査シタル上各別ノ場合ニ就キ申請額ニ對スル各別ノ比率ヲ案シテ審査額ヲ算出シタルナリ右ノ方針ニ從ヒ主査ニ於テ一應申請書全部ノ審査ヲ了シタル上進シ

テ職業ノ類別ヲ定メ一切ノ申請書ヲ職業別ニ分類シ同一職業ニ從事セル申請者ニ付テハ引揚當時ノ在留地ヲ同シクスル者ヲ一括配列シ同業者相互間ノ權衡ヲ失ハサラムカ爲再應審議ヲ盡シ以テ査定表案ヲ作製シタリ委員會ニ於テハ右査定表案ヲ議案トシテ會議ヲ開クコト前後十數回然ルニ會議ノ結果決定セシ査定額ノ總計ハ百一萬八千七百八十圓ニ上リシカ故ニ法律ニ規定セル百萬圓ヲ超過セル額即一萬八千七百八十圓ヲ削減スルノ必要ヲ生シタリ右削減方ニ付テハ申請者中其ノ職業ノ實著ナラス且最誇大ナル損害額ヲ申請シタル貸坐敷業、料理業、飲食店等ニ對スル審査額ニ按分シテ控除スルコトトセリ

以上ノ手續ニ依リ委員會ニ於テ確定セシ査定額ハ別表所載ノ通ニシテ件數及金額左ノ如シ  
受理申請書ノ總件數千六百七十九件中(甲)同一人ニシテ本支店ノ別及營業ノ種類ニ從ヒ各別ニ申請書ヲ提出シタルモノヲ合併審査シ

タルモノ九件(乙)同一人ニシテ同一申請書ヲ重複提出シタルモノト  
認メ其重複ノ分ヲ廢棄セシモノ二十四件(丙)露領亞細亞、滿洲及  
義州方面ニ居住シタル事實ノ根據ナキモノ其ノ他法律ノ規定ニ適合  
セサルモノト認メ委員會ニ於テ否認ト決シタル分八十九件ヲ算スル  
ニ因リ救恤金ヲ下付スヘキモノト査定セシ件數ハ千五百五十七件ト  
ナレリ次ニ申請ノ金額ヲ案スルニ總計千七百四十四萬七千四百三十  
一圓十八錢五厘中廢棄二十四件分十一萬二千八百七十五圓五十三錢  
否認八十九件分六十五萬七千六百五十六圓五錢一厘ニシテ計七十七  
萬五百三十一圓五十八錢一厘ナルカ故ニ前記千五百五十七件ノ申請  
額ハ千六百六十七萬六千八百九十九圓六十錢四厘ニシテ右ニ對スル  
査定額ハ九十九萬九千九百九十七圓ナリ

參考

寫 秘

第 一 號

大正十一年法律第三九號關係  
救恤審査會決議便覽

第 二 號

救恤審査會